

福島市働く女性応援認証企業 ファイル (Vol. 7)

本市では、男女共に働きやすい職場環境づくりなどを積極的に行う中小企業を認証しています。このコーナーでは、認証企業にスポットをあて、その取り組みをご紹介します。



福島市
働く女性応援認証企業



株式会社サカイクリエイティブ

次の30年へ向け女性の 雇用促進を支援します

株式会社サカイクリエイティブは8月に創立30年を迎えます。県内で総合人材サービスを営んでおり、東北地方に本社を置く派遣会社では唯一、厚生労働省の優良派遣事業者認定を受けています。また、SDGsの推進にも取り組んでいます。

事務職を中心に派遣・紹介をしております、派遣社員の約8割を女性が占め、結婚や出産を機に職場を離れてからの復帰、育児や子育てが一段落した際のキャリアアップなど、女性の雇用促進と社会進出を支援しています。



▲福島本社の営業・コーディネーター社員

【会社概要】

所在地：福島市町庭坂

代表者：代表取締役社長
坂井 剛

設立：平成5年8月

資本金：1,000万円

社員数：171人

採用実績：令和4年度104人
(うち女性85人)

主要事業：総合人材サービス

連絡先：☎591-5518

■問／産業雇用政策課
☎515-7746

クローズアップ

女性社員に聞きました！

🐰 我が社のここが働きやすい！

外部講師を招いてのセミナーなど、社員のためになる取り組みを会社が積極的に取り入れてくれます。また、時間外の業務を減らす取り組みも進め、ワークライフバランスを大切にしています。

🐰 思いやりあふれるチーム

社員同士のつながりが濃く、お互いを思いやるチームワークができています。意見が出しやすい環境の中、常に前向きに仕事に取り組むことができます。



入社9年目・本社派遣
紹介事業部マネージャー
清野奈津美さん



▲株式会社サカイクリエイティブのホームページはこちら

We Love♥
ふくしま！

第59回 「地震雷火事」

清水分署の落成式で、幼年消防クラブの園児たちが可愛らしいお祝いをしてくれました。「火の用心 マッチ一本 火事の元」、カチカチ(拍子木)。

心が和みましたが、ふと思っただのは、「園児たちはマッチを知っているのかな?」。かつて簡単に手に入ったマッチは、今やほとんど見ることがありません。

卒業式の定番「蛍の光 窓の雪」(最近は歌う学校が減っているようです)。私が子どもの頃は、電気のない生活を経験した世代の人がいて、何となく理解できる空気がありました。現代の子どもたちには実感が湧かないでしょう。

どちらも現代感覚と離れていますが、火の取り扱いの大切さ、苦勞してでも勉強することの大事さは伝えていきたいものです。これらに限らず、広く知れた渡った名句や故事成語でも、時代の変化から、分かりにくくなったたり、運用しにくくなったたりしているものもあります。しかし、名句や故事成語は社会のさまざまな要素が凝縮したもので、うまく利用することが必要でしょう。

例えば、「壁に耳あり障子に目あり」。障子も少なくなりましたが、常に誰かに見られていると思っただけ行動すれば、悪事は少なくなるでしょう。

「百聞は一見に如かず」。これは誰もが認めるものの、最近では、デジタルを通じて「二見」するケースが増えています。しかし、「デジタル百見はリアル一見に如かず」のケースも多いことを踏まえて、両者を使い分けたいものです。

そして、「雌雄を決する」。優劣の決着をつける前提として、雄は強く、雌は弱いという考え方があります。最近では、性別による固定的観念は禁物。性別は不要のケースも増えています。今後は利用しづらそうですね。

最後に一つ。「地震雷火事親父」。威張り散らす怖い親父は家庭内での居場所がなくなりそうです。絶滅「必至」種といえるでしょう。ただ、威厳はなくてもいざというときには頼りになる存在でいたいものです。

一方、地震、雷、火事の怖さは変わりません。皆さん、くれぐれもご注意ください！



福島市長 木幡 浩